

大阪損保革新懇ニュース

NO. 51
2004. 1. 20

大阪損保革新懇事務局
大阪市中央区道修町三の三の十
大阪屋道修町ビル3F 〇六二二三二〇九五

一月十六日 拡大世話人会議開く

『二〇〇四年、力いっぱい闘おう』

知事選アピールを採択!

1月16日(金)、本年度第2回世話人会(拡大)新年会を開催しました。おでん鍋を囲み32名が集まり、新年の乾杯の後、第6回総会以降の取組を確認しました。ついで当面の課題の取組について討議、大阪府知事選挙アピールを採択し、当面の課題を力強く取り組んでいくことを確認しました。知事選アピールは19日、梅田候補選挙事務所に届け、私たちが梅田革新知事誕生に奮闘する決意を述べました。

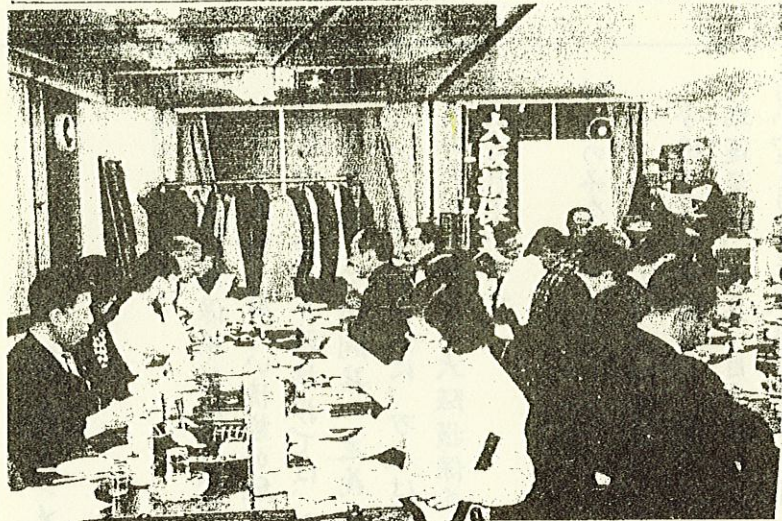
第6回総会以降の取り組みについて、三浦代表世話人から400名の会員の現状と構成、品川講演録の職場の普及、森岡ゼミの2回開催、ホームページの会、結成準備がスタートしたことなどを報告されました。

そして、損保情勢について討論となり、各社の経営者の新年挨拶は、事業費率をテコに「ルールなき損保産業の変質がこれからであること」などが報告されました。

総会アピールの具体化として、「職場に根差した革新懇の存在と仲間の拠り所として成長する」ことが求められている。大企業の社会的責任と働くルールの確立を求める運動を展開していこうと確認し、新年をスタートするにふさわしい討論となりました。

当日、討議した当面の課題は次の通りです

① 森岡ゼミの成功 一月十七日(第三回)、二月二十八日(第四回)



- ② 『ホームページの会』の結成集会の成功 二月十三日(金)
- ③ 憲法改悪反対全国交流集会(東京)に代表派遣の取組 二月二十五日(水)
- ④ 三月十日(水)職場革新懇共催の「講演会」の取組
- ⑤ 知事選アピール採択(アピール文は裏面掲載)

第三回 学習ゼミナール「働くルールと企業責任」

「ITの労働時間への影響とデジタルストレス」

十七日(土)、関西大学教授・森岡先生のゼミナールには、40名の仲間の参加で開催しました。

一・労働時間の増大 二・ダウンサイジングとレイオフの進行 三・IT(情報技術)の衝撃 四・リストラ時代の社員研修と社内広報 五・広がるホワイトカラー労働者のあいだの抵抗、レジメにもとづいてアメリカのホワイトカラーの労働実態を中心に講義を受けました。

このあと参加者の討論をおこない、二次会のそばやさんまで先生を交えての交流が続きました。

参加者の発言は、三井住友・ミレアをはじめ今損保各社の、女性労働に対する大規模な人事制度改定案についての意見が集中しました。

「時給制なんて本当に侮辱している。社員を人間と思っていない証拠。」

「会社のために一生懸命働いてきたのにいまさら「時給制」とは許せません。」など20年、30年働いてきたベテラン女性から怒りの発言があいつぎました。

二月十三日の「ホームページの会」結成にむけて、職場の女性に広く呼びかけ、女性労働のあり方について大きな世論を作っていくと確認しました。



私たちも梅田章二さんを応援します

部
内
資
料

仲間のみなさん！

私たち大阪損保革新懇は六年目の運動に入りました。今年も激動の厳しい情勢が続くことが予想されます。

損保経営者の年頭挨拶では、こぞって収益力を高めるために、増収・ロス改善・コストダウン政策を推進し、徹底して利潤第一主義を貫くことを語っています。

「一人は万人のために、万人は一人のために」という損保産業の精神と誇りはかけらもありません。それだけに私たち大阪損保革新懇には、さらによろしく、今年も旺盛な運動を展開していくことが求められています。

仲間のみなさん！

二十世紀初の大阪府知事選挙のたたかいがはじまりました。二月一日が投票日です。

今回の府知事選は、大阪府民のくらしと大阪経済の立て直しが大きく問われる重要な選挙です。

総選挙後、小泉・自公政権は、年金改悪や消費税の引上げ、地方自治体への補助金カットなど、よりいっそう国民犠牲の悪政を推し進めようとしています。このような悪政から府民のくらしを守る防波堤となるこそが、地方自治体としての大阪府の大きな役割です。

ところがこの4年間、オール与党体制で推し進められてきた太田・大阪府政は、医療・福祉・教育を次々と切り捨てて府民の生活を苦しめています。

その一方、「閑空二期事業」「りんくうタウン建設」「安威川ダム建設」など、破綻が明らかな巨大開発による大企業奉仕の府政を進めてきました。

今度の選挙戦は、大阪府政を大企業本位から、住民＝府民の手に取り戻す選挙です。福祉・医療・教育に重点を置く「住民が主人公」の政治を進めることが第一です。

また、国政では「イラク派兵」が最大の焦点となっている中で、選挙戦でもあります。今、「平和を守れ！」は世界のそして日本国民大多数の声となっています。

仲間のみなさん！

知事がかわれば、くらしがかわります。平和も守れます。

梅田章二さんは、「戦後六十年近くも、日本が海外に軍隊を出さず一人の戦死者も出さなかったのは憲法九条があったから」だと、自衛隊のイラク派兵にきっぱりと反対を表明し、「憲法都市おさか」を宣言することを掲げています。

梅田章二さんは、大阪で生まれ育ち、くらしと権利を守る弁護士として、仲立証券解雇事件や介護保険訴訟など多くの事件を働くもの立場で担当されてきました。

本日開催した拡大世話人会で私たちは、梅田章二さんが掲げている政策と方針は、私たち「大阪損保革新懇」の規約・スローガンや、総会でのアピールと同じ立場と方向であることを確認しました。ここに私たちは、「私たちも梅田章二さんを応援します」のアピールを採択し、職場の仲間・家族・友人知人に力いっぱい呼びかけることを宣言します。

みなさん、梅田革新知事実現のため、ともに奮闘しようではありませんか！

二〇〇四年一月十六日

大阪損保革新懇拡大世話人会一同

「窒息するオフィス 仕事に強迫されるアメリカ人」

著者 シル・A・フレイザー 監訳 森岡孝二

岩波書店発行 定価二二〇〇円を二〇〇〇円で販売
しますので、事務局までお申し込み下さい。

二〇〇四年度会費納入のお願い

会員のみなさん、二〇〇四年度の会費三〇〇〇円の納入をまだの方は至急お願いします。郵便振替かお近くの職場世話人まで預けていただくようお願いいたします。（事務局）